



子どもはみんな!



チャレンジの天才!

子どもは好奇心旺盛! 目に入るもの全てにワクワクするから何でもやってみたくくなります!**保護者の態度は**、そんな子ども達の**チャレンジ精神の育ち**にとっても大きく関わります。子ども達の小さなチャレンジに対し、「できて当たり前」と思うのではなく、小さな拍手を送りましょう!

コツがPOINT!



1 過干渉・過保護は要注意!

子どもがやろうとする前に、先回りして保護者の手が出て、失敗しないように指示を飛ばす保護者。または、子どもが何かやろうとしても「どうせできない」「無理」と言う保護者。当然、子どものチャレンジ精神が育つわけがありません!

2 グッと我慢して、子どもを見守ろう!

子どもが何かを始めるとき、保護者は手も口も出さず、まずグッと見守りましょう。成功失敗に関わらず、「やってみて良かったね!」とチャレンジした行動自体に着目し、声をかけましょう。

3 失敗を恐れず、失敗しても「次、次!!」

失敗した分だけ成功したときの喜びも大きくなるもの。失敗したからすぐやめてしまうのではなく、失敗しても「次!次!」「頑張ったね!集中力はすごかったよ!」と次のチャレンジに繋がるような関わりを心がけましょう。

